

枕草子

原文

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、
ほたるの多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、
ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

現代語訳

夏は夜（がいい）。月のころは言うまでもないが
闇もやはり、ほたるが多く飛びかっている（のがいい）。
また、ほたるが一匹二匹と、ほのかに光って飛んで
いくのも趣きがある。雨など降るのも趣きがある。

重要語句

さらなり↓言うまでもない をかし↓趣がある

